

平成30年度 J I S Z 3 8 2 1
ステンレス鋼溶接技能者評価試験及び受験準備講習会

一般社団法人神奈川県溶接協会、及び一般財団法人日本溶接技術センターは、表記評価試験及び受験準備講習会を実施いたします。溶接技術の向上を目指してたくさんの方々に参加下さいますようご案内申し上げます。

学科、実技の二日間コース

*評価試験の直前に学科、実技についての受験要領を勉強します。

日 時 下記日程により 毎回9時～16時

2018年	学科講習	実技講習	評価試験
2月	7日(水)	8日(木)	9日(金)
3月	7日(水)	8日(木)	9日(金)
4月	4日(水)	5日(木)	6日(金)
5月	9日(水)	10日(木)	11日(金)
6月	6日(水)	7日(木)	8日(金)
7月	11日(水)	12日(木)	13日(金)
8月	8日(水)	9日(木)	10日(金)
9月	5日(水)	6日(木)	7日(金)
10月	3日(水)	4日(木)	5日(金)
11月	7日(水)	8日(木)	9日(金)
12月	5日(水)	6日(木)	7日(金)
2019年			
1月	9日(水)	10日(木)	11日(金)
2月	6日(水)	7日(木)	8日(金)
3月	6日(水)	7日(木)	8日(金)

*講習会は1週間前までにお申込みください。
 但し、満員になり次第締め切ります。
 *試験は、予定の約3週間前に締切ります。
 *試験の申込書又受験料金は別途必要です。申込書をお持ちでない場合は請求してください。
 *講習には筆記用具、作業服、保護具を持参下さい。

《会場》
 川崎市川崎区本町2-11-19
 一般財団法人日本溶接技術センター

ホームページでも見られます
<http://www.jwes-kanagawa.jp/>

- 受講料 被覆アーク溶接(板) 43,500円
- ティグ溶接(板) 41,500円
- ティグ溶接(パイプ) 53,500円
- ミグ溶接(板) 55,500円
- テキスト代 2,365円

*注:実技練習時の材料上限数は下記を参照してください。

料金には消費税8%が含まれています。
 講習会料金には検定試験料金は含まれていません。
 試験料金は別に問い合わせください。
 又は、ホームページでも確認できます。
 受講日変更の場合は、3日前までにご連絡ください。
一旦納入いただいた受講料は、ご返金できません。

実技のみの一日昼間コース

*評価試験の直前に実技についての受験要領を勉強します。

○日 時 上記日程の2日目 毎回9時～16時 *練習材料上限数は下記の通りです

- 受講料 被覆アーク溶接(板) 29,500円 7セット
- ティグ溶接(板) 27,500円 7セット
- ティグ溶接(パイプ) 39,500円 4セット
- ミグ溶接(板) 41,500円 5セット

*注:板とパイプ 両方の場合は、板3セット+パイプ2セット

*申込み及び問合せは下記へお願いします。
 川崎市川崎区本町2-11-19
 一般社団法人神奈川県溶接協会
 電話 044-233-8367
 FAX 044-246-5265
 E-mail: wes-kana@aioros.ocn.ne.jp
 料金は現金又は現金書留郵便又は振込みのいずれかをお願いします。
 横浜銀行川崎支店 普通預金 2200225

学科のみの一日昼間コース

*評価試験の直前に学科についての受験要領を勉強します。

- 日 時 上記2日間コースの1日目 毎回9時～16時
- 受講料 15,000円 テキスト代 2,365円

..... き り と り

ステンレス鋼溶接技能者評価試験受験準備講習会申込書 *

受講者名	期日	希望コース (希望コースを○で囲んでください。)	受験種目	試験日	受講料
	月 日	二日間コース ・ 実技一日昼間コース ・ 学科のみ		/	
	月 日	二日間コース ・ 実技一日昼間コース ・ 学科のみ		/	

◎テキスト 冊 購入します。

○← テキストを購入しない場合は、○にレ点をして下さい。

申込み者 (会社・個人)

担当者

住 所 (郵便番号)

電 話

振込みの場合、予定日を記入してください。 月 日

手溶接 (被覆アーク溶接)					
試験材	資格と記号		溶接方法		試験材寸法
板 板の厚さ 9mm	基本級	CN-F	下向き (板)	突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級	CN-V	立向き	〃	150×125×2枚
	専門級	CN-H	横向き	〃	溶接方向は150です
	専門級	CN-O	上向き	〃	開先はV型
	専門級	CA-O	上向き	突き合わせ溶接 (裏当て金あり)	
パイプ (管)	専門級	CN-P			150A×100×2
	専門級	CN-PM	1～3層までティグ溶接、後手溶接		肉厚 11
	専門級	CA-P			開先はV型
ティグ溶接					
試験材	資格と記号		溶接方法		試験材寸法
板 板の厚さ 3mm	基本級	TN-F	下向き (板)	突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級	TN-V	立向き	〃	150×125×2枚
	専門級	TN-H	横向き	〃	溶接方向は150です
	専門級	TN-O	上向き	〃	開先はI型又はV型
パイプ (管)	専門級	TN-P	パイプ	〃	100A×100×2 肉厚 3 開先はI型又はV型
ミイグ溶接					
試験材	資格と記号		溶接方法		試験材寸法
板 板の厚さ 9mm	基本級	MN-F	下向き (板)	突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級	MN-V	立向き	〃	200×125×2枚
	専門級	MN-H	横向き	〃	溶接方向は200です 開先はV型
	基本級	MA-F	下向き (板)	突き合わせ溶接 (裏当て金あり)	
	専門級	MA-V	立向き	〃	200×125×2枚
	専門級	MA-H	横向き	〃	溶接方向は200です 開先はV型

Fの記号の資格を基本級といいます。最初はこの資格を取得してください。その後、専門級(V・H・O・P)が受けられます。但し、基本級合格を条件にして専門級も同時に受験できます。

尚、上記手溶接(被覆アーク溶接)の資格を受験する場合、当分の間JIS Z 3801のN-1F・A-2F・N-2F・A-3F・N-3Fを基本級として扱いますので、これらの資格を現有する場合はF・V・H・O・P各種の資格のみ受験できます。

学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験がありますので、講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。

受験資格：基本級の試験は、1か月の経験者で15才以上、専門級の試験は、3か月の経験者で15才以上です。

試験材の見取り図

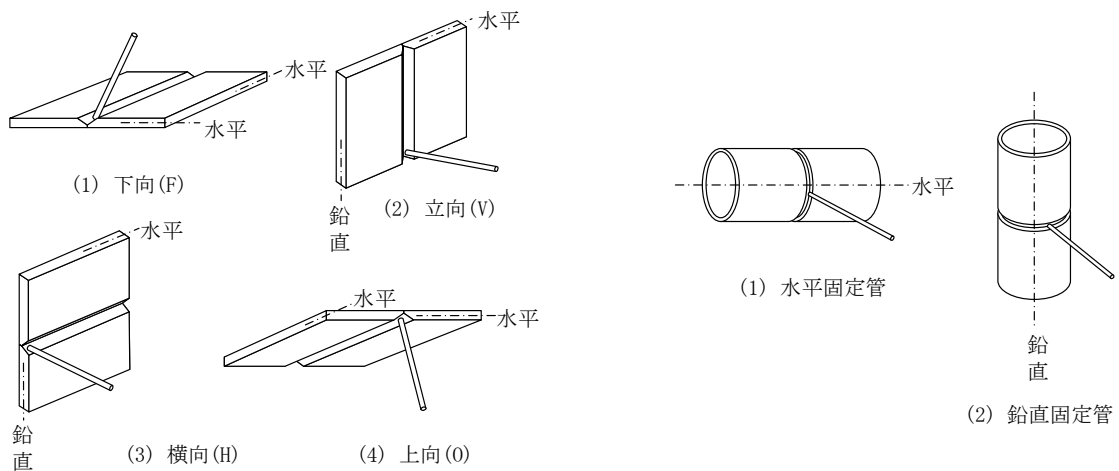


図1 板の溶接姿勢

図2 管の溶接姿勢